

(3)水系

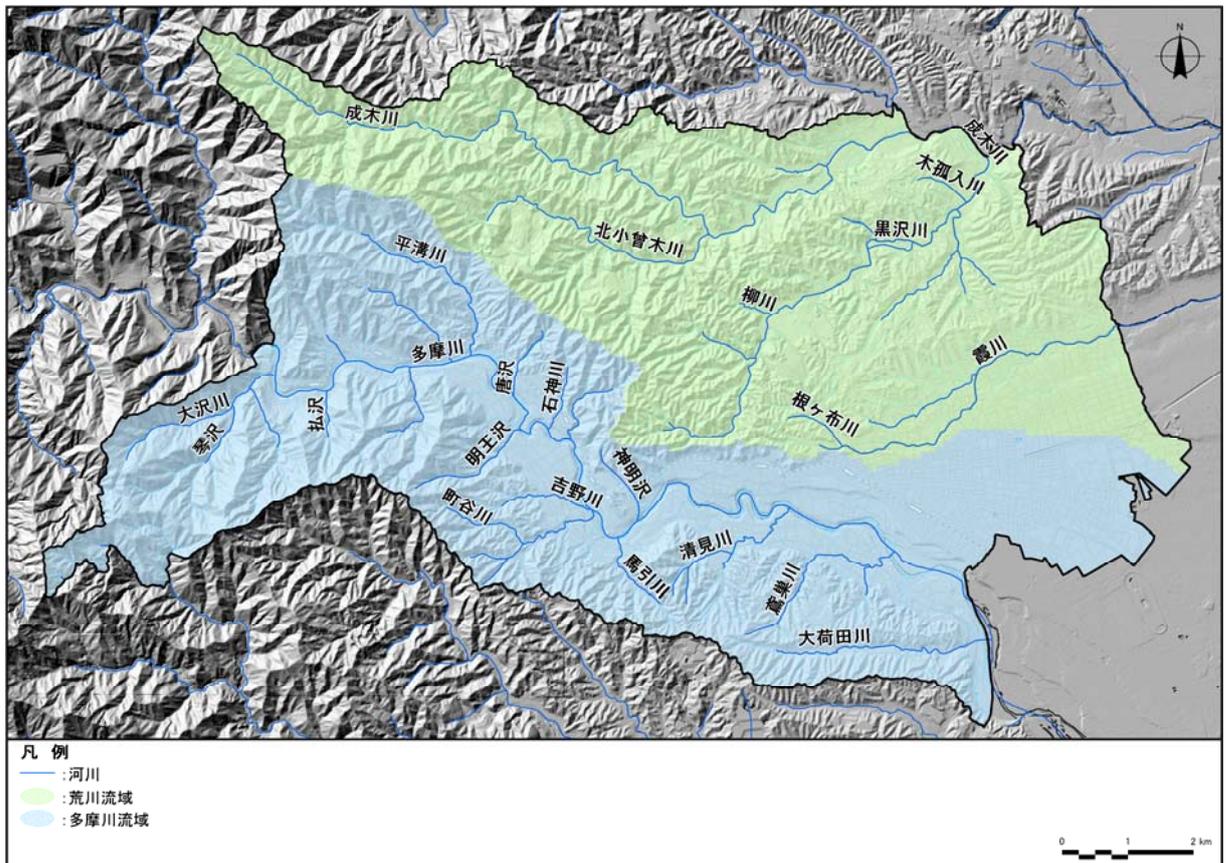
- 多摩川水系・荒川水系の2水系の河川がひとつの市内を流れていることが本市の特徴です。

山地に広がる森林を水源とする河川は、多摩川水系と荒川水系の2水系の河川に分かれています。多摩川は、市域のほぼ中央を北西から南東方向に流れています。荒川水系に属する成木川、黒沢川および霞川は、本市の北東部へと流下しています。

本市の西部に広がる山地は多摩川水系と荒川水系の水源地域の一部となっており、市域は両水系の流域で二分されます。ふたつの水系がひとつの市に含まれることが本市の特徴です。

多摩川の水源地は、山梨県塩山市の笠取山（標高 1,953m）です。本市より上流、奥多摩町には奥多摩湖（小河内ダム）があります。多摩川の本川は本市の中央を流れ、市内で多くの支流と合流しながら、下流の羽村市の方向へと流れていき、東京湾へと流れ込みます。

青梅市内を流れる荒川水系の河川は、入間川の支流であり、埼玉県入間市側に流下します。成木川は、本市の北西端に位置する黒山に源を発し、北小曾木川や黒沢川の支流を合わせて入間川に合流します。また、霞川は根ヶ布にある霞池を水源とし、加治丘陵と武蔵野台地との間を流れ、同じく入間川に合流します。霞川沿いには沖積平野が分布しています。



水系図

出典：水基本調査（主要水系調査）（国土交通省 国土政策局 国土情報課（GISデータ） 2008,2009）

(4) 植生

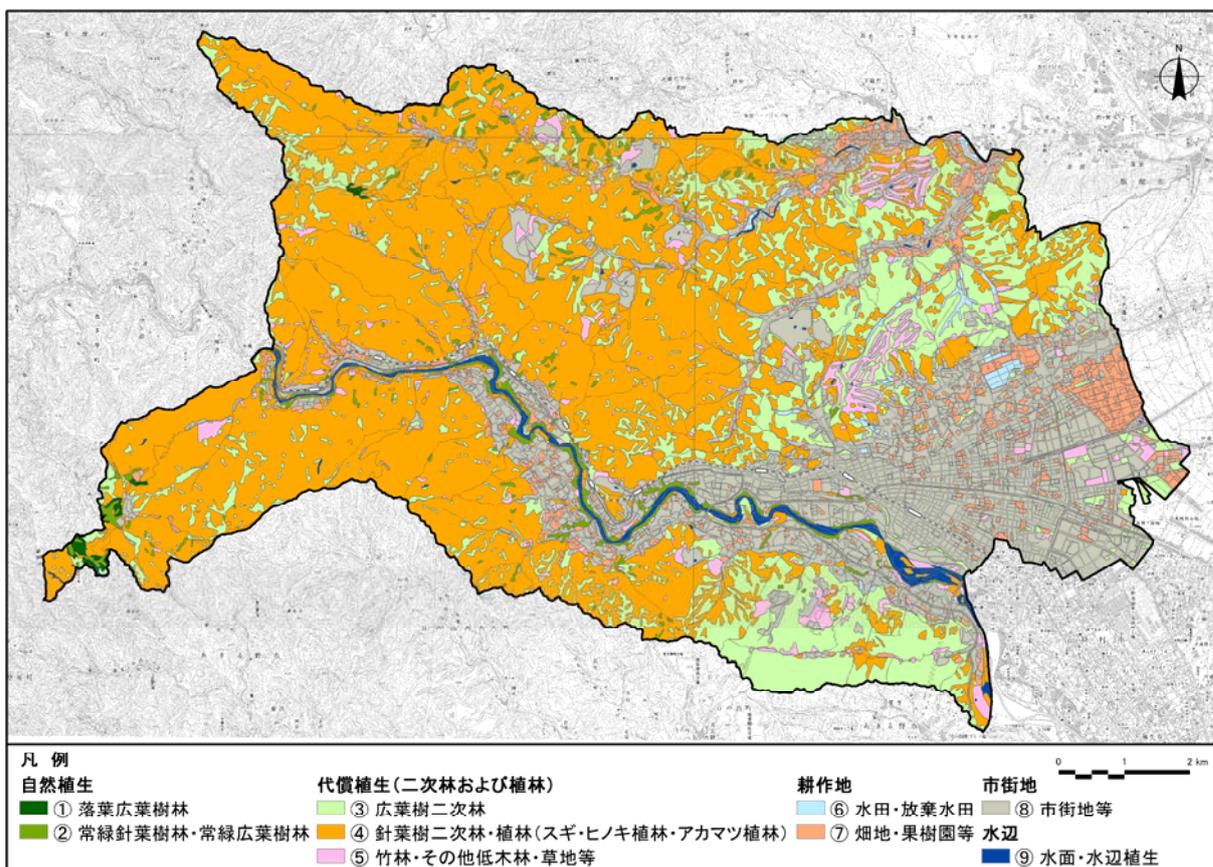
- 山地から丘陵地にかけては、冷温帯の落葉広葉樹林、スギ・ヒノキ植林地、落葉広葉樹二次林（クヌギ・コナラなどを主体とする樹林）などの樹林に覆われています。
- 平地には市街地が広がっていますが、落葉広葉樹二次林や畑地、公園緑地が点在しています。
- 多摩川などの河川沿いには崖線樹林^{がいせんじゅりん}や溪畔林^{けいはんりん}、河川敷の草地が細長く連なっています。

山地の大部分は、林業地としてスギ・ヒノキなどの人工林で占められていますが、標高 600m 以上になると冷温帯の落葉広葉樹林（ブナ・イヌブナ・ミズナラなど）や常緑針葉樹林（ツガ・モミ）など都内でも希少な森が残っています。

丘陵地は、里山として利用されてきたため、主に落葉広葉樹の二次林（クヌギ・コナラなど）が多く、一部にはアカマツ林も点在しています。また、谷沿いは水田や湿地が見られます。

平地には市街地が広がっていますが、落葉広葉樹二次林やアカマツ林からなる平地林や畑地、公園緑地が点在しています。霞川や成木川沿いの低地にはまとまった水田もみられます。

多摩川などの河川沿いでは、上流部の溪谷沿いには溪畔林（ケヤキ・カエデ類など）が連なっていますが、下流に向かって次第に川幅が広くなり、河川敷には草地（水辺のツルヨシ・河川敷のススキなど）や河畔林（ヤナギ類など）が広がっています。また、河川沿いには、崖の連なり（崖線）が幾重にもあって、細長い崖線樹林（ケヤキ・シラカシなど）がみられます。



現存植生図

出典：第6～7回 自然環境保全基礎調査（環境省（GISデータ） 1999～2005）※凡例をまとめて表示

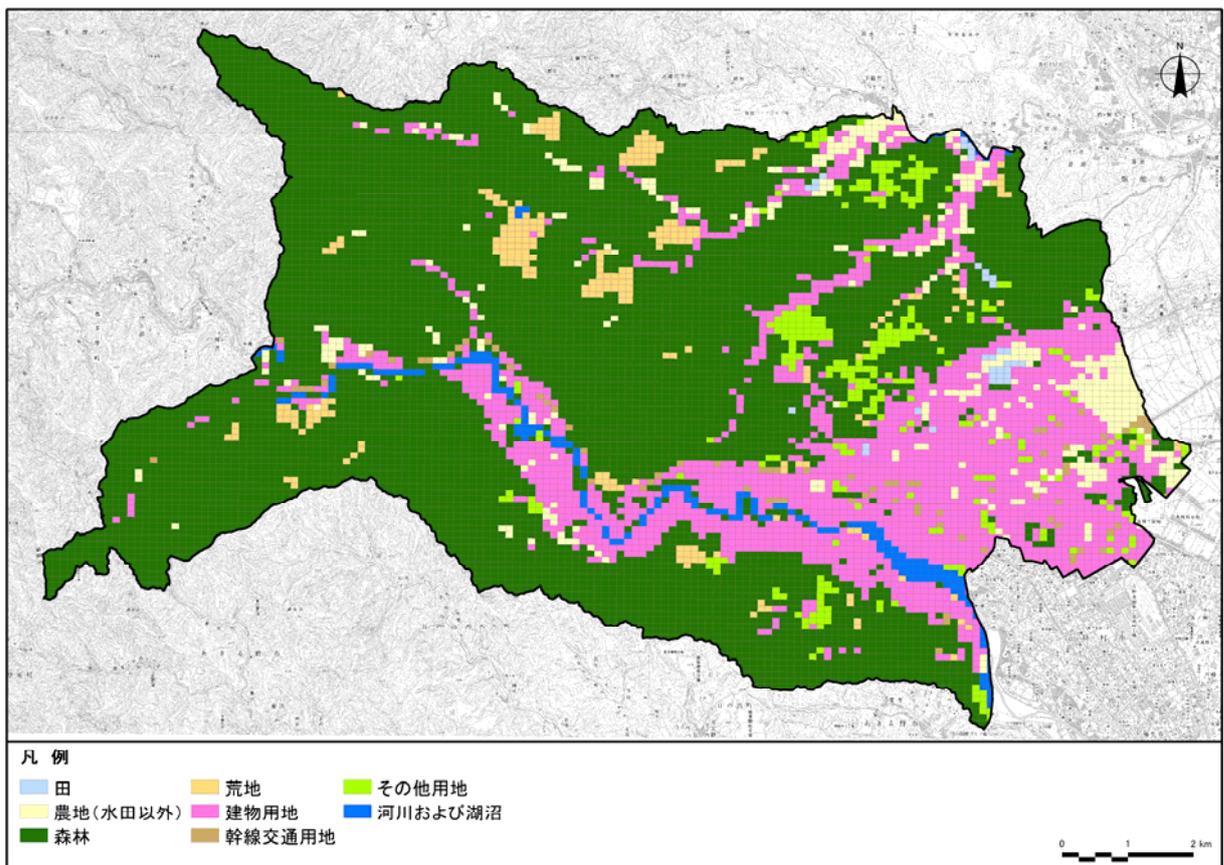
(5) 土地利用

- 山地や丘陵地のほとんどは「森林」で、市域の6割以上を占めています。
- 平地の一部にはまとまった「田」や「農地」が残っています。
- 台地上や河川沿いに広がる平地は市街化が進み、「建物用地」が広がっています。

本市の西部から中央部、東部の一部に広がる山地や丘陵地のほとんどは「森林」で、市域の6割以上を占めています。これらの「森林」の中に、採石場として改変された「荒地」や、ゴルフ場などの「その他用地」が点在しています。

本市の東部の台地に広がる平地には、「農地」がまとまっています。小規模ですが、「農地」は多摩川や荒川水系の河川沿いにも点在しています。「田」は霞川沿いの一部と成木川沿いに見られます。

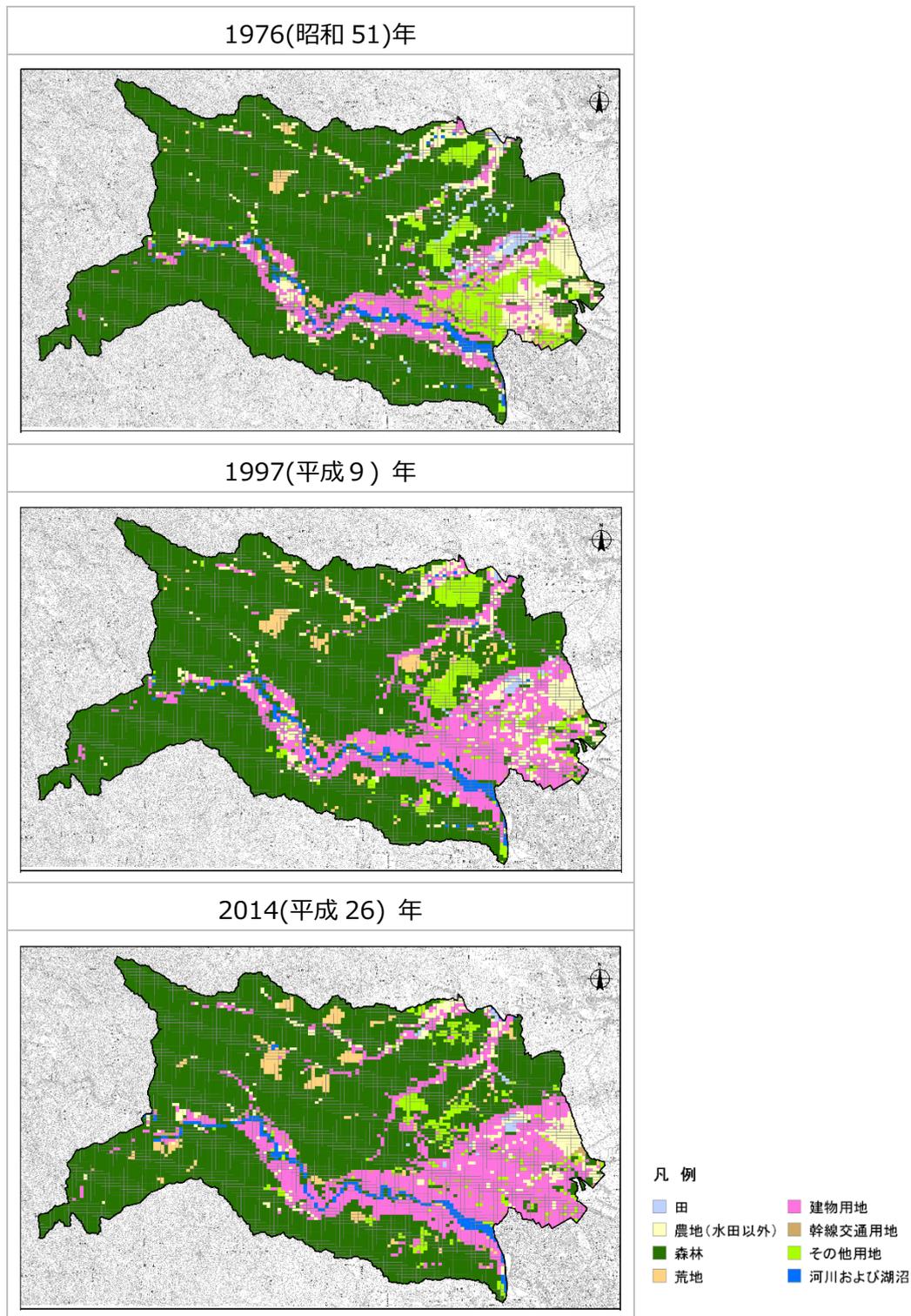
台地上や河川沿いに広がる平地は市街化が進み、「建物用地」が広がっていますが、崖線樹林や平地林、公園緑地などがごく小規模ですが「森林」や「その他用地」として点在しています。



土地利用現況図

出典：国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ（国土交通省 国土政策局 国土情報課（GISデータ） 2014）

過去からの土地利用の変遷をみると、昭和から平成にかけて、本市の東部の台地や多摩川沿いの市街地において、市街化が進んでいることがわかります。この背景として、1955年（昭和30年）代には5万人台であった人口が、1965年（昭和40年）代後半から大きく増加し、平成初頭には13万人台となったことなどが挙げられます。それに伴い、樹林や水田など生き物のすみかとなる環境は減少しました。



青梅市の土地利用の変遷

出典：国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ（国土交通省 国土政策局 国土情報課（GISデータ） 2014）